

インドネシア

西スマトラ州



バダシ

ユリ・タムリンさん

(男性・48才・4期・86年度・短期92年)

-漁業(漁具、漁法)

西スマトラ漁業振興公社に勤務。漁村を巡回し、西スマトラ全域の漁師の組織化と技術指導を行う。



パシルバルー

アリ・ムルティムさん

(男性・47才・5期・87年度)

-漁業(漁法、協同組合)

漁業組合を組織する。岸壁整備、道路整備、製氷工場、市場の整備などを行う。'11年4月に村長に選ばれる。



サムスアリスさん

(男性・59才・8期2班・90年度)

-漁業(漁法、加工、協同組合)

長らく漁にでているが、最近は子どもにまかせることが多い。村の漁業協同組合の仕事も。



ハスマヤニさん

(女性・38才・10期・92年度)

-保健衛生、栄養、洋裁

村の女性に保健衛生、栄養について伝え、村の幼稚園の運営、高校での日本語の指導などの役割を果たす。



セニフィタさん

(女性・38才・10期・92年度)

-保健衛生、栄養、洋裁

休園していた村の幼稚園を再開し、そこで先生をすると同時に母親に対する衛生、栄養指導にあたってきた。現在はパカンバルに住む。



アイルバンギス

アフナルさん

(男性・48才・6期1班・88年度)

-漁業(漁法、協同組合)

帰国後、日本語を磨き大学で日本語の指導とともに日本との連絡調整の役割を果たしてきた。結婚し、現在リアウ州に住む。



モハマド・ファイジンさん

(男性・48才・6期1班・88年度)

-漁業(漁法、協同組合)

村に戻り、漁業に従事してきたが、現在はジャカルタ郊外のペカシに移った。



ハスリ・ペディさん

(男性・47才・6期2班・88年度)

-漁業(漁法、協同組合)

村に戻り、日本の研修内容を地域漁民に伝え、現在は妻の実家の食堂を経営。



ラディアエリタさん

(女性・38才・12期・94年度)

-保健衛生、栄養、洋裁

現地の大学で日本語を磨き、日本語教師に。'11年春まで岡山大学の修士課程で学び、帰国。



ウビ・タンジュンさん

(女性・39才・14期・96年度)

-保健衛生、栄養、洋裁

日本での経験を地域の女性に伝え、生活改善に取り組んでいる。結婚し、メダンに移った。



タランバフンゴ

ダスウィルさん

(男性・41才・17期・99年度)

-農業(野菜、協同組合)

この地域の研修生のまとめ役。有機農業を実践する。行政からの支援をひきだし、学校、幼稚園、道なども整備する。



アフダールさん

(男性・42才・18期・00年度)

-農業(野菜、協同組合)

帰国後、村長に選ばれ、現在まで継続して務める。村長としてはイスラム学校の建設、道路整備や税金の徴収率の向上に力を入れてきた。



アルウィさん

(男性・38才・19期・01年度)

-農業、協同組合

堆肥を作り、有機農業を積極的に実践。また農業用水路の整備等、村のための活動を行う。モスクでは指導者として尊敬を集めている。



ダルミアティスさん

(女性・40才・20期・02年度)

-保健衛生、栄養、洋裁

幼稚園、役場の仕事も行う多忙な日々。母子保健の活動もしながら大学で幼児教育を勉強中。組合活動は州から表彰を受けた。



エルリナさん

(女性・37才・21期・03年度)

-保健衛生、栄養、洋裁

洋裁技術への評価は非常に高く、村での洋裁の注文を一手に受けており、後輩研修生にも仕事の機会を提供している。夫は協同組合リーダー。



アフリタさん

(女性・26才・22期・04年度)

-保健衛生、栄養、洋裁

子育てをしながら村の幼稚園で先生をしている。母子保健、婦人会で他の研修生とも協働する。洋裁は小学校の制服を作っている。



マスララさん

(男性・37才・23期・05年度)

-農業、協同組合

有機農業の実践をしながら、村の道路や灌漑整備などの活動をしている。資金は政府から、労働力は村から。村のリーダーとして活動。



ブットラさん

(男性・24期・06年度)

-農業、住民組織化

牛を飼ひ、農業に取り組むも'08年に大腸癌がみつかり手術。魚の養殖など行っていたが、'09年11月に逝去。



ヘルマさん

(女性・26才・25期・07年度)

-洋裁、保健衛生、栄養

村で幼稚園を作るなど精力的に活動していたが、結婚後に村を移る。現在は保健活動やモスクで子ども達にコーランを教えている。



ベリスマンさん

(男性・30才・26期・08年度)

-農業、保健衛生、栄養

米、さとうきびを中心に有機農業を実践。大工の腕も上達し、仕事が多い。また村の青年グループのリーダーとして村のためにも活動する。



ロザさん

(女性・22才・27期・09年度)

-洋裁、保健衛生、栄養

村にできた幼稚園の運営及び先生をしている。手洗いや規律などを就学前教育として指導。洋裁も修行中。



インドラさん

(男性・30才・28期・10年度)

-農業、保健衛生、住民組織化

帰国後、村の人に働きかけ農業協同組合を作り、事務局を担当。村のほぼ全世帯が加入し、農業用灌漑の整備や有機農業の普及などを行う。



エリザさん

(女性・22才・29期・10年度)

-洋裁、保健衛生、栄養

現在は洋裁や保健衛生、栄養について研修中。帰国後は洋裁グループを作り技術指導、母子保健活動の質の向上、活性化などに取り組む予定。

